

平成24年7月12日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成24年6月13日付け厚生労働省発食安0613第8号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくアゾキシストロビンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

## アゾキシストロビン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

### 1. 概要

(1) 品目名：アゾキシストロビン [ Azoxystrobin (ISO) ]

(2) 用途：殺菌剤

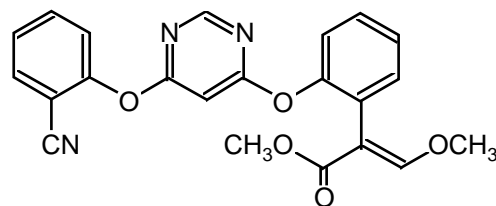
ストロビルリン系殺菌剤である。ミトコンドリアのチトクローム  $bc_1$  複合体の  $Q_o$  部位に結合することで電子伝達を妨げ、菌の呼吸を阻害することにより抗菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名

Methyl (*E*)-2-{2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yloxy]phenyl}-3-methoxyacrylate (IUPAC)

Methyl (*E*)-2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]- $\alpha$ -(methoxymethylene)benzeneacetate (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{22}H_{17}N_3O_5$
分子量	403.4
水溶解度	6.0 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.5$ (20°C)

(メーカー提出資料より)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

### (1) 国内での使用方法

#### ① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数		
小麦	紅色雪腐病	原液	4~8mL/乾燥種子 1kg	は種前	1回	種子吹き付け処理	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)		
	株腐病		8mL/乾燥種子 1kg			塗沫処理			
	うどんこ病 赤さび病	2000~3000倍	100~200L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布			
紫斑病	16~24倍	100~300L/10a	2回以内				無人ヘリコプターによる散布	2回以内	
だいず	腐敗粒べと病	2000倍	800mL/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内		
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500~2000倍	100~300L/10a						
	灰色かび病 菌核病 褐斑病 炭疽病	1500倍							
にがうり	うどんこ病 べと病 炭疽病	2000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病	1500~2000倍							
メロン	うどんこ病 つる枯病 べと病	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内		
すいか	つる枯病 炭疽病								
トマト	葉かび病 灰色かび病								
なす	うどんこ病 すすかび病								
葉たまねぎ	灰色腐敗病 べと病							3回以内	3回以内
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病							4回以内	4回以内
ねぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病	4回以内	4回以内						

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	アゾキシス トロピンを 含む農薬の 総使用回数		
わけぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内		
あさつき				収穫 3 日 前まで					
にら	白斑葉枯病			収穫 14 日 前まで	2 回以内			4 回以内	2 回以内
にら(花茎)				収穫前日 まで					
しゅんぎく	炭疽病			3 回以内	収穫 7 日 前まで				4 回以内
にんにく	さび病 葉枯病								
はくさい	べと病 黒斑病 白さび病	2000～ 3000 倍	3L/m <sup>2</sup>	収穫 30 日 前まで	2 回以内	土壌灌注	4 回以内 (土壌灌注 は 2 回以内)		
	白斑病								
レタス	菌核病 灰色かび病 べと病 すそ枯病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	7 回以内 (苗床では 4 回以内、本 圃では 3 回 以内)		
	ビッグベイン病								
非結球レタス	菌核病 灰色かび病 べと病	1500～ 2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内		
キャベツ	菌核病 株腐病								
いちご	うどんこ病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	苗床： 4 回以内	散布	4 回以内		
	炭疽病	1500 倍							
	灰色かび病	1500 倍			本圃： 3 回以内				
	うどんこ病	1500～ 2000 倍							
	炭疽病	2000 倍							
	灰色かび病	1500 倍							
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 3 日 前まで	4 回以内	4 回以内			
ブロッコリー	べと病				3 回以内	3 回以内			

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
てんさい	葉腐病 褐斑病	1500倍	100～ 300L/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回 以内、散布は 3回以内)	
	根腐病	1500～ 4000倍						
		根腐病	500倍	ペーパー ポット1 冊当り1L (3L/m <sup>2</sup> )	定植前	1回		苗床灌注
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌 による) もち病	2000倍	100～ 400L/10a	摘採14日前 まで	3回以内	散布		3回以内
非結球あぶ らな科葉菜 類	白さび病		100～ 300L/10a	収穫7日前 まで	2回以内		2回以内 (粒剤は1回 以内)	
エンダイブ	菌核病			収穫21日前 まで	1回		1回	
らっきょう	さび病			収穫3日前 まで	3回以内		3回以内	
パセリ	うどんこ病			収穫45日前 まで	1回		1回	
みつば	灰色かび病			収穫14日前 まで 但し、伏せ 込み栽培は 伏せ込み前 まで				
みょうが (花穂)	紋枯病			3L/m <sup>2</sup>	収穫3日前 まで		2回以内	土壌灌注
みょうが (茎葉)			みょうが (花穂)の 収穫3日前 まで 但し、花穂 を収穫しな い場合に あっては開 花期終了 まで					
しそ	斑点病		100～ 300L/10a	収穫前日まで			株元散布	2回以内
せり	葉枯病			収穫7日前 まで	4回以内		散布	4回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロピンを含む農薬の総使用回数
クレソン	斑点病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 21 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内
だいこん	白さび病 ワッカ症			収穫 14 日 前まで			3 回以内 (粒剤は 1 回 以内、但し粒 剤を処理する 場合には水和 剤は 1 回以 内)
あずき いんげんまめ	炭疽病		60～ 200L/10a	収穫 7 日 前まで	1 回		3 回以内
葉ごぼう	うどんこ病		100～ 300L/10a	収穫 21 日 前まで			1 回
こおにたびらこ ははこぐさ	菌核病			収穫 30 日 前まで	4 回以内		
ズッキーニ	うどんこ病		100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内		4 回以内 (粒剤は 1 回 以内、但し粒 剤を処理する 場合には水和 剤は 2 回以 内)
ピーマン	灰色かび病						4 回以内
オクラ	うどんこ病		100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内		2 回以内
畑わさび	白さび病			畑育苗期			
わさび			収穫 7 日 前まで	3 回以内	3 回以内		
かぶ	白さび病 白斑病		収穫 7 日 前まで				
さやいんげん	灰色かび病 菌核病		3 回以内	収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 菌核病 褐紋病						
えだまめ	べと病		3 回以内	収穫 3 日 前まで	4 回以内		4 回以内
セルリー	斑点病						
未成熟そらまめ	さび病		3 回以内	収穫 7 日 前まで	3 回以内		3 回以内
ばれいしょ	夏疫病	3000～ 4000 倍				収穫 7 日 前まで	
	黒あざ病	500 倍	—	植付前	1 回	瞬間種 いも浸漬	
		100 倍	20L/10a	植付時			植溝内 土壌散布

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
やまのいも	葉渋病 炭疽病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
モロヘイヤ	灰色かび病				4 回以内		4 回以内
せんぶり	さび病			収穫 7 日 前まで	3 回以内		3 回以内

② 10.0%アゾキシストロピンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数			
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病	1000～ 1500 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内			
	うどんこ病 炭疽病									
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 べと病 枝膨病 晩腐病 褐斑病 さび病	1000 倍		収穫 30 日 前まで	3 回以内		3 回以内			
	おうとう							灰星病 褐色せん孔病 炭疽病		
								もも	灰星病 黒星病 ホブシ腐敗病	
ネクタリン	灰星病 黒星病			うどんこ病				収穫 7 日 前まで	3 回以内	3 回以内
パッションフ ルーツ	円斑病 疫病									
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病 黒点病									
りんご (ふじ、王林、 ジョナゴールド、つがる、千 秋、さんさ、紅 玉、シナノスイ ート、昴林、涼 香の季節)				収穫 45 日 前まで						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
いちじく	そうか病 疫病 さび病 黒葉枯病	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
すもも	灰星病 すす点病			収穫 7 日 前まで				
びわ	炭疽病			収穫前日 まで				1 回
うめ	黒星病 すす斑病	1500 倍		収穫 7 日 前まで	3 回以内		3 回以内	
マンゴー	炭疽病	1000 倍		収穫 30 日 前まで	2 回以内		2 回以内	
グアバ (果実)				収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内	
オリーブ オリーブ (葉)				収穫 7 日 前まで	3 回以内		3 回以内	
ピタヤ	炭腐症							
バナナ	黒星病							

③ 8.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000～ 1500 倍	100～ 200L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱散布 は 1 回以内、 本田では 3 回 以内)
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌) 変色米 (カブツリア菌) 変色米 (エビコッカム菌) 変色米 (アルタリア菌)	1000 倍					
	いもち病	8 倍	800mL/10a			空中散布	
		原液	120～ 150mL/10a				
		30 倍	3L/10a				
		300 倍	25L/10a				
			無人 ヘリコプターによる散布				
			散布				



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	8倍	800mL/10a	収穫14日前まで	3回以内	無人 ヘリコプターによる散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)
		原液	120～ 150mL/10a			空中散布	
		30倍	3L/10a			散布	
		300倍	25L/10a				

④ 1.5%アゾキシストロビン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂10～30日前	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)

⑤ 0.6%アゾキシストロビン粉剤 DL

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)

⑥ 4.8%アゾキシストロビン・40.0%TPNフロアブル\*

\*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン5.1%、TPN40.0%製剤と同一製剤である。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000倍	100～ 400L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
かぼちゃ	うどんこ病 べと病 疫病			収穫7日前まで	3回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アズキシスト ロビンを含む 農薬の総使用 回数
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病	1000 倍	100～ 400L/10 a	収穫 3 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病 菌核病						
トマト	疫病 葉かび病 炭疽病			収穫前日 まで	2 回以内		2 回以内
ミニトマト	灰色かび病 すすかび病 斑点病			収穫 7 日 前まで			
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病 灰色かび病			収穫前日 まで	4 回以内		4 回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			収穫 7 日 前まで	2 回以内		2 回以内
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病			収穫 21 日 前まで			
たまねぎ	灰色かび病 べと病			収穫 7 日 前まで	4 回以内		4 回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病 小菌核腐敗病			収穫 14 日 前まで			
にんにく	さび病			収穫 7 日 前まで	3 回以内		3 回以内
だいこん	白さび病	収穫 45 日 前まで	3 回以内 (粒剤は 1 回 以内、但し粒 剤を処理する 場合には水和 剤は 1 回以 内)				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病 灰色かび病	1000倍	100～ 400L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (粒剤は1回以内、 但し粒剤を処理する 場合には水和剤は 2回以内)
にがうり	うどんこ病			収穫7日前まで			3回以内

⑦ 18.2%アゾキシストロビン・11.3%ジフェノコナゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病 葉腐病	1000～2000倍 2000倍	100～ 400L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)

⑧ 2.0%アゾキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合には開花期終了まで	1回	土壌表面散布	3回以内 (粒剤は1回以内)
みょうが (花穂)			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内
しょうが						
ホップ	べと病	20g/株	株ごしらえ時～選芽期	1回	株元散布	1回
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで			4回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は2回以内)
とうがらし類						1回
こまつな	白さび病	9kg/10a	は種前 但し、 収穫21日前まで	1回	全面土壌混和	2回以内 (粒剤は1回以内)
タアサイ			定植時			
だいこん	白さび病	9kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	3回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は1回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
べにばな いんげん	茎根腐病	1g/株	定植時	1回	株元散布	1回
こんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時		植溝土壌混和	
	白絹病		培土期		株元散布	

## (2) 海外での使用方法

### 80%アゾキシストロビン顆粒水和剤（ブラジル）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
コーヒー	褐斑病 さび病	0.05kg/ha	収穫 21 日前まで	4回以内	散布
	葉腐病 さび病 <i>Phoma costarricensis</i>				土壌灌注

## 3. 作物残留試験結果

### (1) 分析の概要

#### ①分析対象の化合物

アゾキシストロビン

#### ②分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又はアセトニトリル/ヘキサン分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、高速液体クロマトグラフ（UV）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出する。C<sub>18</sub>カラム及びグラファイトカーボンカラムで精製又は酢酸エチルに転溶し、フロリジルカラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

定量限界：0.005～0.01 ppm

### (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

なお、海外で実施された収穫後使用に係る作物残留試験の結果の概要については別紙 1-3 を参照。

## 4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以

下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

#### (1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場合においても使用されることから、水田PECtier2<sup>注2)</sup>及び非水田PECtier1<sup>注3)</sup>を算出したところ、水田PECtier2は0.47ppb、非水田PECtier1は0.0049ppbとなったことから、水田PECtier2の0.47ppbを採用した。

#### (2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール／水分配係数 ( $\log_{10}Pow$ ) が2.5であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCF については実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、相関式 ( $\log_{10} BCF = 0.80 \times \log_{10}Pow - 0.52$ ) を用いて 30 と算出された。

#### (3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、アゾキシストロビンの水産動植物被害予測濃度:0.47ppb、BCF:30 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.47\text{ppb} \times (30 \times 5) = 70.5\text{ppb} = 0.0705\text{ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠。

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考:平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書)

### 5. 畜産物への推定残留量

#### (1) 動物飼養試験 (家畜残留試験)

##### ①乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビンが0、5、25、75、250ppm含有する飼料を27～30日間にわたり摂食させ、大腿部の内転筋、胸筋、肝臓、腎臓、腹腔内脂肪、皮下脂肪及び乳に含まれるアゾキシストロビン含量を測定した。

また、乳については、投与開始後1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31日目に搾乳したものを測定した(定量限界:乳0.001ppm、乳以外0.01ppm)。結果については表1を参照。

表 1. 組織中の最大残留量 (ppm)

	5 ppm 投与群	25 ppm 投与群	75 ppm 投与群	250 ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

## ②産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビンが0、6、18、60ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。(定量限界：0.01ppm)。

また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。(定量限界:0.01ppm)。

上記の結果に関連して、JMPRでは乳牛及び家禽における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB) はそれぞれ、72ppm及び22ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露される最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考 : Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

## 6. ADI の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会にて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 18.2mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2 年間

安全係数 : 100

ADI : 0.18 mg/kg 体重/day

## 7. 諸外国における状況

2011年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準はバナナ、

ぶどう等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてしょうが、えだまめ等に、カナダにおいてぶどう、なたね等に、EUにおいてえだまめ、ぶどう等に、オーストラリアにおいてアボカド、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

## 8. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

アゾキシストロビンとする。

海外の作物残留試験においてメチル(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート（以下、「Z体」という。）が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験（10試験）においては、いずれも定量限界未満（<0.01ppm）であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてアゾキシストロビン（親化合物のみ）を設定している。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量(TMDI)）のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) 注)
国民平均	38.9
幼小児（1～6歳）	74.8
妊婦	30.0
高齢者（65歳以上）	40.5

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

## アゾキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:<0.01 (#) 注2) (4回, 39日)
					35, 39, 46日	圃場B:<0.01 (#) (4回, 35日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:0.01 (#) (4回, 14日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02 (#) (4回, 14日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.04 (#) (4回, 13日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02 (#) (4回, 28日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03 (#) 圃場B:0.04 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:0.02 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02 (#) (4回, 14日) 圃場B:0.02 (#) (4回, 21日)
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	237日	圃場A:<0.01 (#)
				5回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (#) (5回, 7日)
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	208日	圃場A:0.01 (#)
				5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10 (#) (5回, 7日)
だいち (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (#) (3回, 7日)
						圃場B:0.01 (#) (3回, 7日)
だいち (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.03 (#) (2回, 7日)
						圃場B:0.05 (#) (2回, 7日)
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 (3回, 14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 (#) (3回, 7日)
						圃場B:<0.01 (#) (3回, 7日)
べにばな いんげん (乾燥種実)	2	2%粒剤	1g/株	1回	89, 96, 103日	圃場A:<0.1 (1回, 89日)
					91, 98, 105日	圃場B:<0.1 (1回, 91日)
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 300倍散布 200~250L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.003
						圃場B:<0.003
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 100倍散布20L/10a 3000倍散布192~ 200L/10a	5回	3, 7, 14日	圃場A:0.02
						圃場B:<0.01
やまのいも (塊根)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
こんにやく (球茎)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	123, 137, 151日	圃場A:0.008 (1回, 137日)
					100, 114, 128日	圃場B:0.006 (1回, 114日)
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	21, 28日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a +500倍土壌灌注 1L/冊	1+3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01



農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
だいこん (根部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01(#)(4回, 14日) 圃場B:<0.01(#)(4回, 14日)
だいこん (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+3回	7, 14, 21日	圃場A:4.62(#)(4回, 14日) 圃場B:1.21(#)(4回, 14日)
だいこん (つまみ菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.07
だいこん (間引き菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	20日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
かぶ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回, 14日)
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) +2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(#)(5回, 7日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.0 圃場B:9.2
こまつな (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:2.0(#)(3回, 7日) 圃場B:2.0(#)(3回, 7日)
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:8.5 圃場B:24.6
チンゲンサイ (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:6.4(#)(3回, 7日) 圃場B:1.4(#)(3回, 7日)
ブロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:2.8 圃場B:2.4
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.12 圃場B:5.34
サガミグリーン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.18 圃場B:4.12
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.76 圃場B:3.32
タアサイ (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:1.6(#)(3回, 7日) 圃場B:4.7(#)(3回, 7日)
畑わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回, 14日) 圃場B:0.73
畑わさび (花及び花茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300~320L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:1.52 圃場B:7.16

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
しゅんぎく (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:12.1 圃場B:15.2
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回, 14日)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4 圃場B:2.5
サラダ菜 (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:14.0 圃場B:15.9
リーフレタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100~245L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:21.0 圃場B:5.0
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28日	圃場A:1.6 圃場B:2.2
ほとけのぎ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.86 圃場B:1.29
ごぎょう (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 100~150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.36 圃場B:0.77
たまねぎ※ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02(＃)(4回, 1日) 圃場B:<0.01(＃)(4回, 1日)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回, 7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
わけぎ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回, 7日) 圃場B:0.02
にんじん※ (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回, 60日) 圃場B:0.33
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル+ 2%粒剤	2000倍散布200L/10a+ 18kg/10a	1+3回	14, 21, 28日	圃場A:<1(＃)(4回, 28日) 圃場B:<1(＃)(4回, 28日)
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A:0.7(4回, 14日) 圃場B:0.8
せり (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	3kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+4回	21, 28, 35日	圃場A:5.63(＃)(5回, 21日) 圃場B:2.51(＃)(5回, 21日)
トマト※ (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40(＃)(4回, 1日) 圃場B:0.09(＃)(4回, 8日)
ミニトマト (果実)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.2 圃場B:0.1

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
ピーマン (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1 圃場B:<0.1
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
ししとう (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1(#)(4回, 1日) 圃場B:<0.1(#)(4回, 1日)
甘長とうがらし (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 3, 7, 14日 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1(#)(4回, 1日) 圃場B:<0.1(#)(4回, 1日)
きゅうり※ (果実)	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	46日	圃場A:<0.01(#)
				4回	1, 3, 7日	圃場A:0.20(#)(4回, 1日)
				5回		圃場A:0.16(#)(5回, 1日)
	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	85日	圃場A:0.01(#)
				4回	1, 3, 7日	圃場B:0.48(#)(4回, 1日)
				5回		圃場A:0.25(#)(5回, 1日)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1(#)(4回, 7日) 圃場B:<0.1(#)(4回, 7日)
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.2 圃場B:0.2
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.01(4回, 7日) 圃場B:<0.01
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
ながうり (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7日	圃場A:0.11 圃場B:0.40
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
しょうが (塊茎)	2	2%粒剤	散布18kg/10a	3回	30, 40日	圃場A:0.013 圃場B:0.058
葉しょうが (根茎)	2	2%粒剤	散布18kg/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:0.03(#)(3回, 21日) 圃場B:0.16(#)(3回, 14日)
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.28(3回, 3日) 圃場B:1.30
えだまめ (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.32 圃場B:0.47(3回, 3日)
せんぶり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:14.8 圃場B:3.65(3回, 14日)
オリーブ (葉)	2	10%フロアブル	1000倍散布 322~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:8.75(#)(2回, 28日) 圃場B:7.16(#)(2回, 28日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98(#) 圃場B:0.14(#)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A:0.60(5回, 14日) 圃場B:0.36(5回, 14日)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
びわ※ (果実)	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.014
				3回		圃場A:0.017
	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.008
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
ネクタリン※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回, 3日)
					1, 3, 7日	圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.6(3回, 7日) 圃場B:0.7
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回, 3日)
						圃場B:0.47
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/株	5回	89日	圃場A:0.11(#)
				8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(#)(8回, 1日)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	5回	217日	圃場A:0.03(#)
				8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(#)(8回, 1日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~ 500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日	圃場A:4.22(#)(4回, 45日)
					45, 59, 75日	圃場B:1.68(#)(4回, 45日)
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05
						圃場B:0.36
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.33 圃場B:0.72
グアバ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 139~222L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.03(3回, 14日)
					7, 14, 21日	圃場B:0.08
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.5 圃場B:0.4
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.33
						圃場B:0.30
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.25
						圃場B:0.58
ピタヤ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 188~200L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:1.42
						圃場B:0.37(3回, 14日)
オリーブ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 333~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:1.16(#)(2回, 28日)
						圃場B:0.41(#)(2回, 28日)
茶※ (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:4.75
						圃場B:2.62
						圃場C:0.80
						圃場D:3.46
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:2.50
						圃場B:1.34
						圃場C:0.42
						圃場D:1.28
ホップ (穂花)	2	2%粒剤	20g/株	1回	0, 10, 20日	圃場A:<1(1回, 0日)
						圃場B:<1(1回, 0日)
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.5
						圃場B:0.8

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
シソ (葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.04
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.50(＃) (4回, 3日) 圃場B:0.34(＃) (4回, 3日)
みょうが (花穂)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	散布18kg/10a +2000倍土壌灌注 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.2 圃場B:1.0
モロヘイヤ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:12.8(＃)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (＃)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

## アズキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (粳米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日	圃場A:0.01
					48日	圃場B:0.03
					48日	圃場C:0.02
					48日	圃場D:0.02
					39日	圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日	圃場A:0.23
					53日	圃場B:0.14
					55日	圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.04
					15日	圃場B:0.12
					14日	圃場C:0.12
					16日	圃場D:0.07
					14日	圃場E:0.06
					14日	圃場F:0.06
					14日	圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日	圃場A:<0.01
					14日	圃場B:0.01
					14日	圃場C:0.01
					14日	圃場D:0.12
					14日	圃場E:0.01
					14日	圃場F:<0.01
					20日	圃場G:<0.01
					14日	圃場H:0.06
					14日	圃場I:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日	圃場A:0.01
					118日	圃場B:0.01
					95日	圃場C:0.01
					116日	圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日	圃場A:0.01
					118日	圃場B:0.02
					95日	圃場C:0.01
					116日	圃場D:0.03
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
てんさい (根茎)	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ (根茎)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン (茎葉)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
				6回		
キャベツ (葉) ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ (葉)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05
ケール (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日 13, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31 (2回, 21日)
マスタード (葉)	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 6日	圃場A:4.81 圃場B:14.7 圃場C:4.36 圃場D:5.60 (6回, 7日) 圃場E:12.2 圃場F:10.7 (6回, 7日) 圃場G:21.0 圃場H:7.52 圃場I:7.19
			135-280g ai/ha 散布		0日	
ブロッコリー (花穂)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7日	圃場A:0.804 (6回, 7日) 圃場B:1.29 圃場C:2.13 圃場D:0.187
					0日	
					0, 4, 6日	
					0日	
カリフラワー (花穂)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.06 圃場C:0.17 圃場D:0.15
アーティチョーク (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.6 圃場B:1.7 圃場C:2.3

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.49 圃場B:3.37 圃場C:3.43 圃場D:3.77 圃場E:2.47 圃場F:4.70 圃場G:3.39 圃場H:2.11
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.1 圃場B:3.5 圃場C:4.4 圃場D:10.0 圃場E:8.2 圃場F:4.9 圃場G:13.5 圃場H:2.7
たまねぎ (鱗茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.55 圃場B:0.20 圃場C:0.45 圃場D:0.30 圃場E:<0.01 圃場F:0.14 圃場G:0.28 圃場H:0.07
ねぎ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:5.5 圃場B:1.4
ねぎ (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.2 圃場B:1.4 圃場C:2.3 圃場D:0.58
ねぎ (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.0 圃場B:1.9 圃場C:2.0 圃場D:0.19
にんじん (根茎)	6	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.17 圃場B:0.11 圃場C:0.23 圃場D:0.02 圃場E:0.29 圃場F:0.13
パセリ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:19.7 圃場B:14.2
セルリー (根茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.1 圃場B:3.8 圃場C:9.1 圃場D:3.2 圃場E:2.3 圃場F:4.6 圃場G:5.6 圃場H:2.2
きゅうり (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.04 圃場E:0.09 圃場F:0.07 圃場G:0.05



農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
サマースカッシュ (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10 圃場C:0.05 圃場D:0.05 圃場E:0.11
カンタロープ (果実)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.17 圃場B:0.14 圃場C:0.10 圃場D:0.19 圃場E:0.25 圃場F:0.1
ほうれんそう (茎葉)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	6日 0日 0日 6日 0日 0,7日 0日	圃場A:2.28(6回,6日) 圃場B:18.5 圃場C:8.25 圃場D:2.81(6回,6日) 圃場E:23.0 圃場F:13.6 圃場G:12.5
ほうれんそう (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:16 圃場B:6.2 圃場C:10.1 圃場D:9.6
ほうれんそう (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:14 圃場B:5.0 圃場C:7.7 圃場D:12.0
未成熟豆類※ (莢付豆)	3	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.38(1+6回,0日)(#) 圃場B:0.10(1+6回,0日)(#) 圃場C:1.0(1+6回,0日)(#)
多肉未成熟豆類※ (豆)	1	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.02(1+6回,0日)(#)
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量60- 68gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.69 圃場B:0.63 圃場C:0.58
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量221-235 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.42 圃場B:0.47 圃場C:0.27
オレンジ (果実)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.44 圃場B:0.28 圃場C:0.83 圃場D:0.56
オレンジ (果実)	4	フロアブル (208lb/gallon)	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.23 圃場B:0.35 圃場C:1.05 圃場D:0.72
グレープフルーツ (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量53- 67gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.18 圃場B:0.20 圃場C:0.18 圃場D:0.18
グレープフルーツ (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量217-242 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.24 圃場B:0.24 圃場C:0.37
ラズベリー※ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回 6回	0日 0日	圃場A:0.69(7回,0日)(#) 圃場B:2.33
ブラックベリー※ (果実)	1	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回	0日	圃場A:2.87(7回,0日)(#)

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブルーベリー※ (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	0日 0, 7日	6回	圃場A:1.33(6回, 0日) (#) 圃場B:0.493(6回, 0日) (#) 圃場C:0.918(6回, 0日) (#) 圃場D:0.677(6回, 0日) (#) 圃場E:0.869(6回, 0日) (#) 圃場F:0.857(6回, 0日) (#) 圃場G:1.06(6回, 0日) (#)
クランベリー (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	3, 14日 3, 13日 3, 15日 3, 14日	圃場A:0.151(6回, 14日) 圃場B:0.257 圃場C:0.282 圃場D:0.181
バナナ (果実) (無袋)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.10 圃場B:0.18 圃場C:0.10 圃場D:0.21 圃場E:0.25 圃場F:0.15
バナナ (果実) (袋詰)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.04 圃場B:0.01 圃場C:0.02 圃場D:0.05 圃場E:0.02 圃場F:0.13
マンゴー (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.243 圃場B:0.0686 圃場C:0.444
ライチ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	5回	0日	圃場A:1.66 圃場B:0.231
パパイア (果実)	2	500g ai/kg	80g ai/ha 散布 160g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7, 10, 14日	圃場A:0.16(6回, 0日) 圃場B:0.49(6回, 0日)
綿実 (種子)	12	80%顆粒水和剤	18.6g ai/km 畝間散布	1回	202日 180日 182, 217日 184, 237日 166日 163, 218日 161, 205日 182日 190日 207日 148, 198日 161, 215日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01
なたね (種子)	1	水和剤 (250g ai/L)	250g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.05
なたね (種子)	1	フルトリアフォル 水和剤	200g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.03
キャノーラ (種子)	2	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	1回	71日 65日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
アーモンド (種子)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	29日 29日 29日 29日 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01
ピスタチオ (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	7日	圃場A:0.406 圃場B:0.354 圃場C:0.244
ホップ (新鮮穂軸)	2	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:3.2(6回, 28日) (#) 圃場B:3.4(6回, 28日) (#)

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ホップ※ (乾燥穂軸)	4	フロアブル (250 g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:12(6回,28日)(#) 圃場B:10(6回,28日)(#) 圃場C:15(6回,28日)(#) 圃場D:9.3(6回,28日)(#)
ディル (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.20 圃場B:17.4 圃場C:23.3
バジル (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 5回 6回	0日	圃場A:46.3 圃場B:23.3 圃場C:19.3
ピーマン※ (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 7回	0,8日 0,6日 0日 0,7日 0日	圃場A:0.107(6回,8日)(#) 圃場B:0.369(6回,0日)(#) 圃場C:0.314(6回,0日)(#) 圃場D:0.242(6回,7日)(#) 圃場E:0.136(7回,0日)(#)
とうがらし※ (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 8回	0,8日 0日 0日 0日	圃場A:0.834(6回,0日)(#) 圃場B:0.499(6回,0日)(#) 圃場C:0.059(6回,0日) 圃場D:0.915(8回,0日)(#)
コーヒー豆※ (種子)	1	80%顆粒水和剤	50g ai/ha 散布	5回	21,28, 35,42日	圃場A:<0.01(5回,21日)(#)

海外で実施された作物残留試験のうち、作物残留試験が実施された国の使用方法の範囲内で試験が行われていない試験成績等については記載していない。  
ただし、作物名に「※」が記されている未成熟豆類、多肉未成熟豆類、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、ホップ、ピーマン、とうがらし及びコーヒー豆の試験については作物残留試験が実施された国における使用方法の範囲外で実施されているものの、作物残留試験条件等を考慮し、基準値設定の際の参考とすることとした。

一部の作物残留試験については、各国政府の要請により記載していない。

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験結果）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

## 収穫後使用に係る作物残留試験

## ①作物残留試験方法の概要

主に米国の農業試験場または州立大学の附属施設で農薬処理した作物を栽培し、収穫した果実に防かび処理を施した後、分析機関でアゾキシストロビンの残留量を測定した。試験に関与した全ての施設は GLP 適合施設であった。通常の栽培方法に従い、果実に散布処理を 2 回した後、成熟果実を収穫した。防かび処理は浸漬処理または荷造工程スプレー処理で 1 または 2 回行った。残留データを作成した作物は以下の通りである。

(登録作物名)	(残留データを作成した作物)
かんきつ類	グレープフルーツ、オレンジ、レモン

②作物残留試験結果及び米国の残留農薬基準

(A) かんきつ類

以下の表 A-1～A-3 の結果に基づき、アメリカにおけるアゾキシストロビンのかんきつ類の残留基準は 10ppm に設定された。

表 A-1. グレープフルーツ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
グレープフルーツ (マーシュ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.288	0.251
	米国テキサス州			0.101	0.098
	米国 カリフォルニア州	2 + 1	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	5.427	2.938
	米国テキサス州			2.096	1.562
	米国 カリフォルニア州			0.986	0.915
	米国テキサス州			1.443	1.185
	米国テキサス州	1.675	1.517		
	米国 カリフォルニア州	2 + 2	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.554	0.414
	米国テキサス州			2.682	2.077
	米国テキサス州			2.870	2.603
米国 カリフォルニア州	0.865			0.734	

表 A-2. オレンジ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
オレンジ (バレンシア) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.285	0.171
	米国フロリダ州			0.087	0.075
	米国 カリフォルニア州	2	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)]	3.994	2.385
	米国フロリダ州			1.632	1.213
	米国 カリフォルニア州	2 +	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス)	1.082	0.822
				米国フロリダ州	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(無ワックス)]
	米国フロリダ州	1.468	1.309		
	米国 カリフォルニア州	2 +	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送ワックス処理	0.467	0.365
				米国フロリダ州	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)] + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)
	米国フロリダ州	2 +	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.08g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)] + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(無ワックス)]		
米国 カリフォルニア州	2 +	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.584	0.578	

表 A-3. レモン

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果(mg/kg)		
				最大値	最小値	
レモン (ユーレカ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.515	0.289	
				0.693	0.466	
		2 +	1	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	3.577	2.711
					6.643	5.050
				0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス)	1.565	1.179
					0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.451
		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送ワックス処理	1.952	1.466		
			0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送ワックス処理	0.808	0.715	
		2 +		2	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス) + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	5.478
			9.182			8.152
0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.880	0.775				

※1 使用回数について「A+B」と記載がある場合は、A：収穫前に使用したアゾキシストロビンの使用回数、B：収穫後に使用したアゾキシストロビンの使用回数を指す。

※2 アゾキシストロビン原体の含量を示す。

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際基準 ppm	外国基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.2	0.2	○			0.04(#)(\$),0.02(#)
小麦	0.3	0.3	○	0.2		0.01(#),0.10(#)(\$)
大麦	0.5	0.5		0.5		
ライ麦	0.3	0.3		0.2		
とうもろこし	0.05	0.05		0.02		
その他の穀類	0.5	0.5		0.5		
大豆	0.5	0.5	○	0.5	0.5	アメリカ 【0.04,0.12,0.12,0.07,0.06,0.06,0.02(米国)】
小豆類	0.5	0.5	○		0.5	アメリカ 【米国の大豆及び乾燥豆参照】
えんどう	0.5	0.5			0.5	アメリカ 【米国の大豆及び乾燥豆参照】
そら豆	0.5	0.5			0.5	アメリカ 【米国の大豆及び乾燥豆参照】
らっかせい	0.2	0.2		0.2	0.2	アメリカ 【<0.01,0.01,0.01,0.12,0.01,<0.01,<0.01,0.06,0.0】
その他の豆類	0.5	0.5			0.5	アメリカ 【米国の大豆及び乾燥豆参照】
ばれいしょ	1	1	○	1		
さといも類(やつがしらを含む。)	1	1		1		
かんしょ	1	1		1		
やまいも(長いもをいう。)	1	1	○	1		
こんにゃくいも	1		申	1		
その他のいも類	1	1		1		
てんさい	1	1	○	1		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	1	1	○	1		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	50	50.0	○	50.0	アメリカ	【23.6,31.4,12.8,9.9,14.3(米国)】
かぶ類の根	1	1	○	1		
かぶ類の葉	15	15	○			2.36, 8.64(\$)
西洋わさび	1	1		1		
クレソン	70	3.0	○	70	3.0	アメリカ 【0.117,0.475,0.511(\$),<0.0676,1.32(米国)】
はくさい	3	3.0	○	3.0	アメリカ	【米国のキャベツ及びブロッコリー参照】
キャベツ	5	5	○	5		【1.76,0.90,0.321,1.99(外葉あり)0.176,0.101,0.0251,0.174(外葉なし)(米国)】
芽キャベツ	5	5		5		(きょうな参照)
ケール	40	40	○			1.0,9.2(\$)
こまつな	15	15	○			8.5,24.6(\$)
きょうな	40	40	○			(きょうな参照)
チンゲンサイ	40	40	○			
カリフラワー	5	5		5		
ブロッコリー	5	5	○	5		2.8,2.4
その他のあぶらな科野菜	40	40	○	5		【0.804,1.29,2.13,0.187】(きょうな参照)
ごぼう	1	1	○	1		
サルシフィー	1	1		1		
アーティチョーク	5	5		5		
チコリ	30	30		0.3		
エンダイブ	30	30.0	○	30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれん草参照】
しゅんぎく	30	30.0	○	30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びほうれん草参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	30.0	○	3	30.0	アメリカ 【2.49,3.37,3.43,3.77,2.47,4.70,3.39,2.11(レタス)(米国)】
その他のきく科野菜	70	50	○	70		【6.1,3.5,4.4,10.0,8.2,4.9,13.5,2.7(リーフレタス)(米国)】



食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
たまねぎ	10	1.0	○	10		1.10,2.42 0.83(\$),0.13
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○	10		
にんにく	10	0.1	○	10		
にら	70	5	○	70		
アスパラガス	2	2	○	0.01		
わけぎ	10	10	○	10		
その他のゆり科野菜	50	50	○	10		
にんじん	1	1	○	1		【2.1,3.8,9.1,3.2,2.3,4.6,5.6,2.2(米国)】
パースニップ	1	1	○	1		
バセリ	70	30.0	○	70		
セロリ	30	30.0	○	5		
みつば	5	5	○			
その他のせり科野菜	70	50	○	70		
トマト	3	3	○	3		1.18,1.28
ピーマン	3	3	○	3		
なす	3	3	○	3		
その他のなす科野菜	30	30	○	3		
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	1	○	1		<0.20(#),0.48(#)(\$)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	1	1	○	1		
しろうり	1	1	○	1		
すいか	1	1	○			
メロン類果実	1	1	○			
まくわうり	1	1	○			
その他のうり科野菜	1	1	○	1		
ほうれんそう	30	30.0			30.0 アムカ	【2.28,18.5,8.25,2.81,23.0,13.6,12.5,16,6.2,10.1,9.6,14.5,0.7,7.12,0(米国)】 1.22,1.06 0.013,0.058(\$) 0.28,1.30(\$)(さやえんどう) 【米国の未成熟豆類参照】 【米国の未成熟豆類参照】 2.32(\$),0.47
オクラ	3	3	○	3		
しょうが	0.3	0.3	○			
未成熟えんどう	3	3	○	3	3.0 アムカ	
未成熟いんげん	3	3	○	3	3.0 アムカ	
えだまめ	5	5	○	3		
しいたけ	3			3		
その他のきのこ類	3			3		
その他の野菜	70	50	○	70		
みかん	1	1.0				収穫後使用に係る作物残留試験に基づき設定
なつみかんの果実全体	10	2		15	10 アムカ	
レモン	10	2		15	10 アムカ	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	2		15	10 アムカ	
グレープフルーツ	10	2		15	10 アムカ	
ライム	10	2		15	10 アムカ	
その他のかんきつ類果実	10	2		15	10 アムカ	
りんご	2	2	○			0.98(#),0.14(#) 0.60(\$),0.36/0.68(\$),0.35 (日本なし参照) 0.014,0.017(\$)
日本なし	2	2	○			
西洋なし	2	2	○			
びわ	0.1	0.1	○			
もも	0.05	0.05	○			<0.01,0.01 0.5,1.4(\$)  0.6,0.7 1.30(\$),0.47
ネクタリン	3	3	○	2		
あんず(アプリコットを含む。)	2	2	○	2		
すもも(プルーンを含む。)	2	2	○	2		
うめ	2	2	○	2		
おうとう(チェリーを含む。)	3	3	○	2		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
いちご	10	10	○	10		
ラズベリー	5	5.0		5		
ブラックベリー	5	5.0		5		
ブルーベリー	5	5		5		
クランベリー	0.5	0.5		0.5		
ハuckleベリー	5	5		5		
その他のベリー類果実	5	5.0		5		
ぶどう	10	10	○	2		4.22(#),1.68(#)
かき	1	1	○			0.05,0.36(\$)
バナナ	3	3	○	2		1.33,0.72
パパイヤ	2	2.0		0.3	2.0	【0.16,0.49(米国)】
アボカド	1	1				
グアバ	0.3	0.3	○			0.03(#),0.08(#)(\$)
マンゴー	1	1	○	0.7		0.5,0.4
パッションフルーツ	1	1	○			0.33,0.30
その他の果実	3	3	○			
ひまわりの種子	0.5			0.5		
べにばなの種子	0.5	0.5			0.5	【<0.01,0.01(キャノーラ) (米国)】
綿実	0.7	0.7		0.7		
なたね	1	1			1.0	【0.05,0.03,<0.01,0.01 (カナダ)】
ぎんなん	0.01	0.01		0.01		
くり	0.02	0.02		0.01		
ペカン	0.02	0.02		0.01		
アーモンド	0.02	0.02		0.01		
くるみ	0.02	0.02		0.01		
その他のナッツ類	1	1		1		
茶	10	10	○			4.75(\$),2.62,0.80,3.46
コーヒー豆	0.05	0.05			0.05	【<0.01(ブラジル)】
ホップ	30	30	○	30		
その他のスパイス	70	30		70		
その他のハーブ	70	70	○	70		
牛の筋肉	0.05	0.01		0.05		
豚の筋肉	0.05	0.01		0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.01		0.05		
牛の脂肪	0.05	0.05		0.05		
豚の脂肪	0.05	0.05		0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05		0.05		
牛の肝臓	0.07	0.07		0.07		
豚の肝臓	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.07	0.07		0.07		
牛の腎臓	0.07	0.07		0.07		
豚の腎臓	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07	0.07		0.07		
牛の食用部分	0.07	0.07		0.07		
豚の食用部分	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.07	0.07		0.07		
乳	0.01	0.01		0.01		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの脂肪	0.01	0.01		0.01		
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの肝臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの腎臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの食用部分	0.01	0.01		0.01		
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		
その他の家さんの卵	0.01	0.01		0.01		
魚介類	0.08	0.08				【推:0.0705】
とうもろこし油(注1に限る。)	0.1			0.1		
とうがらし(乾燥させたもの)	30			30		
乾燥ハーブ	300			300		

注1) 食用植物油の日本農林規格に規定する食用とうもろこし油及びこれと同等以上の規格を有すると認められる食用油。本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

アゾキシストロビン推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.2	37.0	19.5	27.9	37.8
小麦	0.3	35.0	24.7	37.0	25.0
大麦	0.5	3.0	0.1	0.2	1.8
ライ麦	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.2	0.1	0.0
その他の穀類	0.5	0.2	0.1	0.3	0.2
大豆	0.5	28.1	16.9	22.8	29.4
小豆類	0.5	0.7	0.3	0.1	1.4
えんどう	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2
そら豆	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
らっかせい	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の豆類	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	1	36.6	21.3	39.8	27.0
さといも類 (やっがしらを含む。)	1	11.6	5.7	7.9	17.3
かんしょ	1	15.7	17.7	13.8	16.8
やまいも (長いもをいう。)	1	2.6	0.5	1.6	4.3
こんにゃくいも	1	12.9	5.7	11.0	13.4
その他のいも類	1	0.4	0.3	0.8	0.4
てんさい	1	4.5	3.7	3.4	4.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	1	45.0	18.7	28.7	58.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	50	110.0	25.0	45.0	170.0
かぶ類の根	1	2.6	0.7	0.7	4.2
かぶ類の葉	15	7.5	1.5	4.5	16.5
西洋わさび	1	0.1	0.1	0.1	0.1
クレソン	70	7.0	7.0	7.0	7.0
はくさい	3	88.2	30.9	65.7	95.1
キャベツ	5	114.0	49.0	114.5	99.5
芽キャベツ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ケール	40	4.0	4.0	4.0	4.0
こまつな	15	64.5	30.0	24.0	88.5
きょうな	40	12.0	4.0	4.0	12.0
チンゲンサイ	40	56.0	12.0	40.0	76.0
カリフラワー	5	2.0	0.5	0.5	2.0
ブロッコリー	5	22.5	14.0	23.5	20.5
その他のあぶらな科野菜	40	84.0	12.0	8.0	124.0
ごぼう	1	4.5	1.6	2.4	5.2
サルシフィー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
アーティチョーク	5	0.5	0.5	0.5	0.5
チョコリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
エンダイブ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
しゅんぎく	30	75.0	18.0	57.0	111.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	183.0	75.0	192.0	126.0
その他のきく科野菜	70	28.0	7.0	35.0	49.0
たまねぎ	10	303.0	185.0	331.0	226.0
ねぎ (リーキを含む。)	10	113.0	45.0	82.0	135.0
にんにく	10	3.0	1.0	1.0	3.0
にら	70	112.0	49.0	49.0	112.0
アスパラガス	2	1.8	0.6	0.8	1.4
わけぎ	10	2.0	1.0	1.0	3.0
その他のゆり科野菜	50	45.0	5.0	5.0	90.0
にんじん	1	24.6	16.3	25.1	22.3
パースニップ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	70	7.0	7.0	7.0	7.0
ゼロリ	30	12.0	3.0	9.0	12.0
みつば	5	1.0	0.5	0.5	1.0
その他のせり科野菜	70	7.0	7.0	7.0	21.0
トマト	3	72.9	50.7	73.5	56.7
ピーマン	3	13.2	6.0	5.7	11.1
なす	3	12.0	2.7	9.9	17.1
その他のなす科野菜	30	6.0	3.0	3.0	9.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	16.3	8.2	10.1	16.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	1	9.4	5.8	6.9	11.5
しろうり	1	0.3	0.1	0.1	0.8
すいか	1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.10	0.3
まくわうり	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	1	0.5	0.1	2.3	0.7
ほうれんそう	30	561.0	303.0	522.0	651.0
オクラ	3	0.9	0.6	0.6	0.9
しょうが	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
未成熟えんどう	3	1.8	0.6	2.1	1.8
未成熟いんげん	3	5.7	3.6	5.4	5.4
えだまめ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
しいたけ	3	14.1	5.4	11.4	14.7
その他のきのこ類	3	29.4	12.0	23.1	29.7
その他の野菜	70	882.0	679.0	672.0	854.0
みかん	1	41.6	35.4	45.8	42.6
なつみかんの果実全体	10	1.0	1.0	1.0	1.0
レモン	10	3.0	2.0	3.0	3.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	10	4.0	6.0	8.0	2.0
グレープフルーツ	10	12.0	4.0	21.0	8.0
ライム	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のかんきつ類果実	10	4.0	1.0	1.0	6.0
りんご	2	70.6	72.4	60.0	71.2
日本なし	2	10.2	8.8	10.6	10.2
西洋なし	2	0.20	0.20	0.20	0.20
びわ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.05	0.0	0.0	0.2	0.0
ネクタリン	3	0.3	0.3	0.3	0.3
あんず (アプリコットを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
すもも (プルーンを含む。)	2	0.4	0.2	2.8	0.4
うめ	2	2.2	0.6	2.8	3.2
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.3	0.3	0.3	0.3
いちご	10	3.0	4.0	1.0	1.0
ラズベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ブラックベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ブルーベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
クランベリー	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ハuckleベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のベリー類果実	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ぶどう	10	58.0	44.0	16.0	38.0
かき	1	31.4	8.0	21.5	49.6
バナナ	3	37.8	33.9	26.1	53.1
パパイヤ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	1	0.2	0.1	0.1	0.2
グアバ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	3	11.7	17.7	4.2	5.1
ひまわりの種子	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
べにばなの種子	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
綿実	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
なたね	1	8.4	5.0	8.2	5.3
ぎんなん	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	10	30.0	14.0	35.0	43.0
コーヒー豆	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
ホップ	30	3.0	3.0	3.0	3.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
その他のスパイス	70	7.0	7.0	7.0	7.0
その他のハーブ	70	7.0	7.0	7.0	7.0
陸棲哺乳類の肉類	0.07	4.0	2.3	4.2	4.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	1.4	2.0	1.8	1.4
家禽の肉類	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
魚介類	0.08	7.5	3.4	7.5	7.5
計		3729.6	2125.9	3003.0	3950.4
ADI比 (%)		38.9	74.8	30.0	40.5

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

高齢者については畜水産物の摂取量データがないため、妊婦については家きんの卵類及び水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

(参考)

これまでの経緯

平成10年	4月24日	初回農薬登録
平成16年	11月16日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいこん及びピーマン）
平成16年	11月30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成18年	2月22日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：にんじん、ねぎ等）
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成18年	12月21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年	9月21日	残留農薬基準告示
平成19年	9月21日	農林水産省より厚生労働省へ基準設定依頼（魚介類）
平成19年	10月2日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	11月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成20年	6月30日	残留農薬基準告示
平成21年	4月20日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：バナナ、しょうが等）
平成21年	6月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	1月28日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年	12月13日	残留農薬基準告示
平成23年	8月9日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：こんにゃく）
平成23年	10月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	10月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに添加物の指定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	3月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響

評価について通知

平成24年 6月13日 薬事・食品衛生審議会へ諮問

平成24年 6月22日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 石井 里枝  | 埼玉県衛生研究所水・食品担当主任研究員          |
| ○大野 泰雄 | 国立医薬品食品衛生研究所長                |
| 尾崎 博   | 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授    |
| 斉藤 貢一  | 星薬科大学薬品分析化学教室准教授             |
| 佐藤 清   | 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長     |
| 高橋 美幸  | 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員  |
| 永山 敏廣  | 東京都健康安全研究センター食品化学部長          |
| 廣野 育生  | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授         |
| 松田 りえ子 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長             |
| 宮井 俊一  | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問           |
| 山内 明子  | 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長       |
| 由田 克士  | 大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授      |
| 吉成 浩一  | 東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授 |
| 鰐淵 英機  | 大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授      |
- (○：部会長)